その２　（表）

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	庁舎（本庁舎・第二庁舎・第三庁舎・議場棟・公会堂・さんさん館）
事業所番号	A 1 0 3 5 － 0 0 1 3
事業所等の所在地	〒 1 8 1 － 0 0 1 4　区市町村名 東京都三鷹市 町名番地以下 野崎１－１－１
事業所等の延床面積	16,660.03 ㎡　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分 □ 1年未満
所有形態	■ 自己所有 □ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部 □ 建物の一部（テナント） □ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	■ 事務所 □ 商業施設（物販） □ 商業施設（飲食） □ 工場 □ 複合施設 □ その他
日本標準産業分類における細分類番号	9 8 2 1　連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 ■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成28年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		①	566	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑬）	②	1,100	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③	13	t
	総　計（④=②+③）	④	1,113	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤	66.0	kg-CO_2/m^2

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	25,203.6	45.00	1,134.2	0.014	56.6
	その他（A重油）		□	L	236.0	39.10	9.2	0.019	0.6
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電得時を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	2,132,582.0	9.76	20,814.0	0.489	1,042.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪ 0.0	9.76	⑫ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 21,957.4		⑮ 1,100.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	15,863.0			0.251	4.0
	公共下水道		□	m^3	21,878.0			0.439	9.6
合　計									⑯ 13.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

（裏）

４　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策 対策番号	重点対策 対策名	その他対策 対策番号	その他対策 対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置		
		A203	具体的な取組目標と内容の設定		
		A204	取組状況の点検体制の構築		
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C508	空室・不在時等の空調停止	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C128	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
		E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E125	高輝度誘導灯の導入
		E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人感センサの採用
				E112	空調用高効率冷凍機の採用

実績年度の目標達成の状況　□ 目標達成した。

５　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）	%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）	t
	その他	特記事項に内容を記載			

６　特記事項

運用対策追加事項（C110、C111）

（日本工業規格A列4番）

その２　（表）

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	福祉会館												
事業所番号	A	1	0	3	5	−	0	0	1	9			
事業所等の所在地	〒	1	8	1	−	0	0	1	4	区市町村名	東京都三鷹市		
	町名番地以下	野崎１−１−１											
事業所等の延床面積	1,897.01	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満								
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有											
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部（テナント）	□ 建物の一部（その他）										
報告範囲の主たる用途	□ 事務所	□ 商業施設（物販）	□ 商業施設（飲食）	□ 工場	□ 複合施設	■ その他							
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	9	9	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当					
前年度の報告内容からの変更点													

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成28年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑪×0.0258）		①	61	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑫）	②	118	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑬）	③	3	t
	総　計（④=②+③）	④	121	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤	62.2	$kg\cdot CO_2/m^2$

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	25,253.9	45.00	1,136.4	0.014	56.7
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	126,478.0	9.76	1,234.4	0.489	61.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑭ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑮ 0.0
合　計							⑱ 2,370.8		⑲ 118.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,550.0			0.251	1.4
	公共下水道		□	m^3	5,556.0			0.439	2.4
合　計									⑬ 3.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

（裏）

４　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策 対策番号	重点対策 対策名	その他対策 対策番号	その他対策 対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A208	組織横断的な推進体制の整備
		A204	取組状況の点検体制の構築	A213	推進担当者の知識向上・内部還元
				A215	優良事例の組織内共有体制の構築
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C501	倉庫等不使用箇所のこまめな消灯	C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整
				C128	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

５　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\cdot CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

６　特記事項

（日本工業規格A列4番）

その２　（表）

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	大沢コミュニティ・センター												
事業所番号	A	1	0	3	5	－	0	0	1	2			
事業所等の所在地	〒	1	8	1	－	0	0	1	5	区市町村名	東京都三鷹市		
	町名番地以下	大沢4－25－30											
事業所等の延床面積	3,680.81	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満								
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有											
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部（テナント）	□ 建物の一部（その他）										
報告範囲の主たる用途	□ 事務所	□ 商業施設（物販）	□ 商業施設（飲食）	□ 工場	□ 複合施設	■ その他							
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当					
前年度の報告内容からの変更点													

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成28年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=④×0.0258）		①	45	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑭）	②	87	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③	1	t
	総　計（④=②+③）	④	88	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤	23.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=⑥/1000×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	2,164.3	45.00	97.4	0.014	4.9
	その他（LPG）		□	kg	46.8	50.80	2.4	0.016	0.1
	その他（　）		□		0.0				
	その他（　）		□		0.0				
	その他（　）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電導路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	118,502.0	9.97	1,181.5	0.489	57.9
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	50,966.0	9.28	473.0	0.489	24.9
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪ 0.0	9.76	⑫ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 1,754.2		⑮ 87.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,169.0			0.251	0.5
	公共下水道		□	m^3	2,169.0			0.439	1.0
合　計									⑯ 1.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

（裏）

４　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策 対策番号	重点対策 対策名	その他対策 対策番号	その他対策 対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A208	組織横断的な推進体制の整備
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C502	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C503	利用客数の時間帯別把握
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C505	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更		
		C508	空室・不在時等の空調停止		
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E104	照明点灯範囲の細分化

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

５　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）	%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$	CO_2排出量（総量）	t
	その他	特記事項に内容を記載			

６　特記事項

・冷暖房の使用時期を極力遅らせる等、極力使用しないように努めている。やむを得ない時は消費電力の少ない機器で対応。・照明については、最低限の点灯にしている。・夏期の冷房使用について、可能な限りの節電を心がけている。

（日本工業規格A列4番）

その２　（表）

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	牟礼コミュニティ・センター
事業所番号	A 1 0 3 5 － 0 0 1 8
事業所等の所在地	〒 1 8 1 － 0 0 0 2　区市町村名：東京都三鷹市 町名番地以下：牟礼7－6－25
事業所等の延床面積	2,483.66 m²
事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 2 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成28年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑩×0.0258）		①	37	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑭）	②	73	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑮）	③	1	t
	総　計（④=②+③）	④	74	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤	29.3	kg-CO_2/m²

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm³	3,762.2	45.00	169.3	0.014	8.4
	その他（LPG）		□	kg	67.1	50.80	3.4	0.016	0.2
	その他（　）		□		0.0				
	その他（　）		□		0.0				
	その他（　）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電柱線を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	82,110.0	9.97	818.6	0.489	40.2
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	49,784.0	9.28	462.0	0.489	24.3
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑫ 1,453.3		⑭ 73.1
その他	水道及び工業用水道		□	m³	2,240.0			0.251	0.6
	公共下水道		□	m³	2,240.0			0.439	1.0
合　計									⑮ 1.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

（裏）

４　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策 対策番号	重点対策 対策名	その他対策 対策番号	その他対策 対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A208	組織横断的な推進体制の整備
		A204	取組状況の点検体制の構築	A213	推進担当者の知識向上・内部還元
				A215	優良事例の組織内共有体制の構築
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を部の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C501	倉庫等不使用箇所のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C118	自動販売機の休日・夜間照明停止
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C129	季節に応じた温度設定の見直し
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E102	蛍光灯へ電子安定器採用（屋内）
		E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E105	照明用人感センサの採用
		E114	高効率パッケージの採用	E106	高効率照明ランプの採用（屋外）
		E123	トップランナー機器の採用	E107	蛍光灯へ電子安定器採用（屋外）

実績年度の目標達成の状況　□ 目標達成した。

５　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）	%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m²	CO_2排出量（総量）	t
	その他	特記事項に内容を記載			

６　特記事項

（日本工業規格A列4番）

その２　（表）

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	井口コミュニティ・センター
事業所番号	A 1 0 3 5 － 0 0 1 1
事業所等の所在地	〒 1 8 1 － 0 0 1 1　区市町村名：東京都三鷹市 町名以下番地：井口1－13－32
事業所等の延床面積	2,324.07 m²
事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 2 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成28年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 43	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑲）	② 83	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑩）	③ 2	t
	総　計（④=②+③）	④ 85	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 35.7	kg-CO_2/m²

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=⑥/1000×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量※1（t） ⑩=⑥×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm³	6,024.2	45.00	271.1	0.014	13.5
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	99,600.0	9.97	993.0	0.489	48.7
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	43,502.0	9.28	403.7	0.489	21.3
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪ 0.0	9.76	⑫ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 1,667.8		⑮ 83.5
その他	水道及び工業用水道		□	m³	3,373.0			0.251	0.8
	公共下水道		□	m³	3,373.0			0.439	1.5
合　計									⑯ 2.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

（裏）

４　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策 対策番号	重点対策 対策名	その他対策 対策番号	その他対策 対策名
組織体制の整備				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
				A215	優良事例の組織内共有体制の構築
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C113	中間期における外気冷房の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯		
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更		
		C506	余熱利用による早めの空調停止		
		C508	空室・不在時等の空調停止		
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）		
		E114	高効率パッケージの採用		
		E123	トップランナー機器の採用		

実績年度の目標達成の状況　□ 目標達成した。

５　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）	%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m²	CO_2排出量（総量）	t
	その他	特記事項に内容を記載			

６　特記事項

プール開催期間の短縮。

（日本工業規格A列4番）

その２　（表）

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	井の頭コミュニティ・センター
事業所番号	A 1 0 3 5 － 0 0 0 9
事業所等の所在地	〒 1 8 1 － 0 0 0 1　区市町村名：東京都三鷹市 町名番地以下：井の頭2－32－30
事業所等の延床面積	1,984.27 m²
事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 2 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成28年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑩×0.0258）		① 37	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑲）	② 71	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑳）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 71	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 35.7	kg·CO₂/m²

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=⑥/1000×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm³	791.7	45.00	35.6	0.014	1.8
	その他（LPG）		□	kg	100.0	50.80	5.1	0.016	0.3
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	116,765.0	9.97	1,164.1	0.489	57.1
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	25,969.0	9.28	241.0	0.489	12.7
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪ 0.0	9.76	⑫ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 1,445.8		⑮ 71.9
その他	水道及び工業用水道		□	m³	1,070.0			0.251	0.3
	公共下水道		□	m³	1,070.0			0.439	0.5
合　計									⑯ 0.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

（裏）

４　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策 対策番号	重点対策 対策名	その他対策 対策番号	その他対策 対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A208	組織横断的な推進体制の整備
		A204	取組状況の点検体制の構築	A213	推進担当者の知識向上・内部還元
				A215	優良事例の組織内共有体制の構築
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C130	エレベータ運転台数の制限
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C505	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C507	温度計等による室温の把握と調整
		C508	空室・不在時等の空調停止		
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

５　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg·CO₂/m²	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

６　特記事項

（日本工業規格A列4番）

その２　（表）

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	新川中原コミュニティ・センター
事業所番号	A 1 0 3 5 － 0 0 1 4
事業所等の所在地	〒 1 8 1 － 0 0 0 4　区市町村名：東京都三鷹市 町名番地以下：新川１－１１－１
事業所等の延床面積	2,572.74 ㎡　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 2 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成28年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		①	44	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	②	85	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③	3	t
	総　計（④=②+③）	④	88	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤	33.0	kg-CO_2/m^2

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	3,361.1	45.00	151.2	0.014	7.5
	その他（LPG）		□	kg	148.1	50.80	7.5	0.016	0.4
	その他（　）		□		0.0				
	その他（　）		□		0.0				
	その他（　）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	133,519.0	9.97	1,331.2	0.489	65.3
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	25,895.0	9.28	240.3	0.489	12.7
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪ 0.0	9.76	⑫ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 1,730.3		⑮ 85.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,565.0			0.251	1.1
	公共下水道		□	m^3	4,565.0			0.439	2.0
合　計									⑯ 3.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

（裏）

４　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策 対策番号	重点対策 対策名	その他対策 対策番号	その他対策 対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A208	組織横断的な推進体制の整備
		A204	取組状況の点検体制の構築	A213	推進担当者の知識向上・内部還元
				A215	優良事例の組織内共有体制の構築
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C133	可能な限り低い照度設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C126	事務用機器の台数見直し・集約化
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C502	採光を利用した消灯の実施
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用（屋内）		

実績年度の目標達成の状況：□ 目標達成した。

５　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

６　特記事項

（日本工業規格A列4番）

その２　（表）

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	連雀コミュニティ・センター
事業所番号	A 1 0 3 5 － 0 0 2 0
事業所等の所在地	〒 1 8 1 － 0 0 1 3　区市町村名 東京都三鷹市 町名番地以下 下連雀7－15－4
事業所等の延床面積	2,896.07 m²
事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 2 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成28年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）			① 54	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）		② 106	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）		③ 2	t
	総　計（④=②+③）		④ 108	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）		⑤ 36.6	kg-CO_2/m²

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	□	Nm³	5,306.0	45.00	238.8	0.014	11.9
	その他（LPG）	□	kg	28.0	50.80	1.4	0.016	0.1
	その他（　）	□		0.0				
	その他（　）	□		0.0				
	その他（　）	□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気　昼間（8時～22時）	□	kWh	140,860.0	9.97	1,404.4	0.489	68.9
	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気　夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	51,927.0	9.28	481.9	0.489	25.4
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）	□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑪ 0.0	9.76	⑫ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計						⑭ 2,126.4		⑮ 106.3
その他	水道及び工業用水道	□	m³	3,017.0			0.251	0.8
	公共下水道	□	m³	3,017.0			0.439	1.3
合　計								⑯ 2.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

（裏）

４　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策 対策番号	重点対策 対策名	その他対策 対策番号	その他対策 対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築
				A216	所内会議・研修会等で報告
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C505	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C510	その他設備の不使用時の停止
		C508	空室・不在時等の空調停止		
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E104	照明点灯範囲の細分化
		E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人感センサの採用
		E123	トップランナー機器の採用	E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E121	高効率ボイラの採用（給湯用）

実績年度の目標達成の状況　□ 目標達成した。

５　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m²	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

６　特記事項

（日本工業規格A列4番）

その２　（表）

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	三鷹駅前コミュニティ・センター
事業所番号	A 1 0 3 5 － 0 0 0 8
事業所等の所在地	〒 1 8 1 － 0 0 1 3　区市町村名 東京都三鷹市 町名番地以下 下連雀3－13－10
事業所等の延床面積	3,957.87 m²
事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	8 2 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成28年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑪×0.0258）		①	83	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑭）	②	162	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑩）	③	1	t
	総　計（④=②+③）	④	163	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤	40.9	kg-CO_2/m^2

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	450.5	45.00	20.3	0.014	1.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電導路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	243,077.0	9.97	2,423.5	0.489	118.9
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	87,376.0	9.28	810.8	0.489	42.7
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.489	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,254.6		⑮ 162.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,072.0			0.251	0.5
	公共下水道		□	m^3	2,072.0			0.439	0.9
合　計									⑯ 1.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑪とする。

（日本工業規格A列4番）

（裏）

４　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策 対策番号	重点対策 対策名	その他対策 対策番号	その他対策 対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A208	組織横断的な推進体制の整備
		A204	取組状況の点検体制の構築	A213	推進担当者の知識向上・内部浸透
				A215	優良事例の組織内共有体制の構築
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C118	自動販売機の休日・夜間照明停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C507	温度計等による室温の把握と調整
		C508	空室・不在時等の空調停止	C513	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C514	自動販売機の休日・夜間照明停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E105	照明用人感センサの採用
		E114	高効率パッケージの採用	E106	高効率照明ランプの採用（屋外）
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E129	全熱交換器の導入

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

５　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無				
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）	%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg-CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）	t
	その他	特記事項に内容を記載			

６　特記事項

平成26年度に全館の空調設備を新規更新済。平成27年度から会議室内、廊下、非常階段等の自熱電球及び蛍光灯照明について、順次LED照明に更新中。

（日本工業規格A列4番）

その２　（表）

地球温暖化対策報告書（その２）

１　事業所等の概要

事業所等の名称	三鷹市芸術文化センター
事業所番号	A 1 0 3 5 － 0 0 0 5
事業所等の所在地	〒 1 8 1 － 0 0 1 2　区市町村名 東京都三鷹市 町名番地以下 上連雀6－12－14
事業所等の延床面積	9,983.07 m²
事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	9 5 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点	

２　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成28年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑪×0.0258）		① 322	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑫）	② 643	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑬）	③ 3	t
	総　計（④=②+③）	④ 646	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 64.4	kg·CO_2/m^2

３　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=⑥/1000×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	86,115.4	45.00	3,875.2	0.014	193.2
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電柱等を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	129,639.0	9.97	1,292.5	0.489	63.4
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	790,239.0	9.28	7,333.4	0.489	386.4
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑪ 0.0	9.76	⑭ 0.0	0.489	⑮ 0.0
合　計							⑯ 12,501.1		⑰ 643.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,408.0			0.251	1.1
	公共下水道		□	m^3	5,177.0			0.439	2.3
合　計									⑱ 3.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本工業規格A列4番）

（裏）

４　地球温暖化対策の実施状況

		重点対策 対策番号	重点対策 対策名	その他対策 対策番号	その他対策 対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A204	取組状況の点検体制の構築	A213	推進担当者の知識向上・内部還元
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C133	可能な限り低い照度設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C502	採光を利用した消灯の実施
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C503	利用客数の時間帯別把握
		C508	空室・不在時等の空調停止	C507	温度計等による室温の把握と調整
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用（屋内）	E125	高輝度誘導灯の導入
		E103	高効率照明器具の採用（屋内）	E104	照明点灯範囲の細分化
		E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人感センサの採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

５　提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有　■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク	CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		kg·CO_2/m^2	CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載				

６　特記事項

対策メニュー追加事項：（重点対策）C114・D106・E123（その他対策）B107・C110・C112・C113・C115・C116・C118・C120・C121・C122・C123・C124・C125・C126・C127・C128・C129・C509・C510・C511・C512・C514・C516・C517・C518・C519・C522・C524・D108・E106・E108・E109・E110・E111・E113・E121・E122・E124・E129・E130・E118・E131・E133・E136・E138・E139・E140

（日本工業規格A列4番）